

未来へ

 紀の川市議会だより
2024. 11. 1 発行 NO.71

紀の川市議会の第3回定例会と活動をわかりやすくお伝えします。



大國主神社にて

●CONTENTS●

いざ、踊れ！

委員会活動報告	P2
令和6年第3回定例会	P4
一般質問	P12
追跡 あの質問、どうなったの？	P19

委員会活動報告

#厚生常任委員会 × #産業建設常任委員会 × #広報委員会



厚生常任委員会

学童保育の現状と今後について
8月5日、所管事務調査を行った。

この調査を行うに至った経緯は、
学童保育の民間委託を進めていく
こととされたため注視すべき、と
考えたからである。

現状は、保護者会への委託が1
ヶ所、社会福祉法人への委託が1
ヶ所、残り8ヶ所は支援員、保護
者、地域の方などからなる運営委
員会に委託されている。

10ヶ所の学童それぞれで運営を
行っているため、学童間でサービ
スや保護者負担が異なっているこ
と。支援員の確保に苦慮している
こと。支援員などの事務負担が過
重になっていることなどの課題が
出てきている。そのため、運営の
均一化、人材確保などの観点から
民間委託することにした。

事業者が持つ知識や経験、人材
の活用により均一かつ良質なサー
ビスの提供で利用者の満足度や安
心感が高まること、支援員の事務
負担の軽減により児童の育成に集
中で、そのことでモチベーショ
ンアップにつながり、子育て環境



の一層の充実になることを期待し
ている。

令和7年4月から5年間で委託
期間とし、公募型プロポーザル方
式で決定すると説明があった。

委員会での質疑

Q なぜ1事業者に委託するの
か。

A 支援員の処遇、運営内容など
必要なところは統一していく
という考えである。

Q 5年間で9億8千万円程度と
見込んでいるが、現在どれく
らいか。

A 令和5年度決算で1億6千万
円程度。

Q 予算的に上がる内容は。

A 開所時間の統一、支援員の賃金に反映していただくなど。

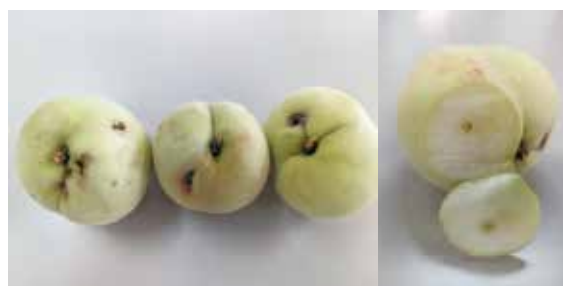
Q 支援員の雇用は。

A 継続雇用は最優先にする。今より減らすというようなことは考えていない。

4つの学童を視察し、支援員の方々と意見交換をした。

視察後の会議では、「支援員の方々もまだまだ不安なところも多そうだった。業者決定後、各学童と事業者での協議は当局で責任を持って対応してほしい。」「支援員全員が内容を理解しているようではなく、情報の共有がされていないように思う。」「いろいろな考え方、方法がある。統一するのは難しいかと思うが、行政がちゃんと聞くように願う。」などの意見がでた。

9月18日の委員会に事業者が決定したと報告された。今後も注視していく。



カメムシ被害の桃

産業建設常任委員会

被害は深刻

害虫による果樹の被害が多数報告され、当委員会では対応と調査を重ねてきた。

まず、今年の春先からカメムシが大量発生し、市内の農家の方々から桃の生育に影響が出ているという相談が多数あった。

これをきっかけに、6月4日、あら川の桃振興協議会長や選果場の方々同行のもと、市長に対し、被害を受けている農家への支援を陳情し、翌週、那賀振興局長にも同様のお願いをした。



かき・もも研究所にて

つぎに、市内の桃農園で特定外来生物のクビアカツヤカミキリによる被害が発生しているという報告を受け、6月30日、実際に被害を受けた農園で被害樹木の確認を行った。その翌月、当委員会の所管事務調査にて市の担当部局から市内全体の被害状況の聞き取り調査を行った。

9月19日、県の出先機関である「かき・もも研究所」に向き、クビアカツヤカミキリの実物を確認し、研究員から生態や防除方法、今後の対策について研修を受けた。



クビアカツヤカミキリ

特産品を守るため

気候の変化によるカメムシの大量発生は、桃だけでなく他の果樹や農作物にも影響を及ぼしている。

また、クビアカツヤカミキリの防除策については研究されてきているが、被害を事前に予防するのは非常に難しいのが現状である。

害虫による被害の拡大を最大限に抑え、市の特産品を守っていくため、当委員会では引き続き調査を行い、今後も農業者に寄り添って対応をしていきたい。

● 第3回定例会 ●

こんなことが決まりました

定例会 会期 32日間 8月30日～9月30日

・ 一般質問 10名が登壇

定例会の議案は

市長提出議案

・ 専決処分	1件
・ 人事案件	17件
・ 令和5年度決算の認定	10件
・ 条例の改正	1件
・ 令和6年度補正予算	7件
・ その他	1件

3件に
注目!

※議会だよりは、主な議案を抜粋して掲載しておりますので、その他の議案や結果につきましても、紀の川市議会ホームページをご覧ください。

(議案第84号) 令和6年度紀の川市一般会計補正予算(第4号)について

1

新事業団地造成事業が順調に進んでいる

◎新事業団地造成事業(4829万2千円)

新事業用地の候補地である曾山地区での造成に必要な土地購入や物件補償などにかかる経費を増額します。

こんな質問が出ました

Q 今後の事業スケジュールは。

A 令和6年度は前年度に引き続き用地取得及び調査設計業務を進めています。令和7年度は実施設計を確定し、一部周辺力所の対策工事に着手したいと考えています。令和8年度から令和9年度完成を目途に施工したいと考えています。

Q 事業用地に誘致する企業については。

A 「紀の川-C周辺土地利用構想」に基づき検討、調整をしているが、現時点では確定に至っていません。



計画予定地(令和5年度末)

2

世界へ紀の川市のPRを

◎観光プロモーション事業委託料(552万5千円)

2025年大阪・関西万博の関西パビリオン和歌山ゾーンで開催される県のコマースシャルウィークへの出演と多目的エリアの出展にあたり必要となる準備経費について、増額します。

こんな質問が出ました

Q 具体的にどのような事業をするのか。

A パビリオン内和歌山ゾーンでのコマースシャルウィークに出演し、語り部による英語での同時通訳を行い「医聖華岡青洲」の功績を広くPRします。
また、多目的エリアで紀の川市観光協会による観光PR及び特産土産物の販売、紀の川市産フルーツを使用したマルシェを実施するほか、バーチャルリアリティを使ったパラグライダーのフライト体験の開催を計画しています。



関西パビリオン

3

オフィスソフトなしのノートPCが 入札で1台21万9662円

職員用ノートパソコンを入れ替えるため、指名競争入札が行われました。

ノートパソコン750台 1億6474万7千円
(契約先) 有限会社カワカミ 代表取締役 河上泰三

こんな質問が出ました

Q 今までリースだったのでは。

A 今はリースです。リースの方が高額になるため、今回は費用的に安くなる購入としました。

Q 8社を指名した経緯は。

A 今回はパソコン本体そのもので設定などが必要ないため、市内業者で十分対応できると判断し、OA機器で登録のある市内業者8社すべてを指名しました。

Q 4社が辞退した理由は。

A 「該当商品の数量確保及び納入期間が間に合わない」「この仕様書を見る限り、富士通、NECのみの規格のため辞退します」などです。

購入するPC(NEC製のVKM47/D-K)のスペック

OS	Windows11Pro
CPU	Core i5-1350P
画面	15.6型(1920×1080)
メモリ	16GB
記憶装置	256GB SSD
保証	1年間
内蔵NFCポートあり、SDカード対応リーダーあり、光学ドライブなし等	

令和5年度決算を審査しました

総務文教、厚生、産業建設常任委員会をそれぞれ分科会とし、所管する事項について詳しく審議を行いました。一般会計については、予算決算常任委員会で決算小委員会を設置し、3日間にわたり審査を行いました。

令和5年度決算

一般会計

予算現額	352億6,999万円
歳入決算額	339億1,540万6,572円 (収入率96.2%)
歳出決算額	318億7,739万5,681円 (執行率90.4%)
翌年度(6年度)繰越額	20億3,801万 891円

特別会計(6会計)

歳入決算額	168億8,559万2,681円
歳出決算額	166億2,445万5,546円



公営企業会計	水道事業会計	工業用水道事業会計	下水道事業会計
収益的収入	16 億 7,518 万 7,131 円	4,638 万 6,565 円	7 億 6,860 万 713 円
収益的支出	14 億 2,705 万 2,441 円	3,194 万 1,081 円	7 億 5,452 万 8,132 円
資本的収入	4 億 8,667 万 5,520 円	0 円	12 億 1,216 万 580 円
資本的支出	11 億 2,351 万 3,830 円	1,229 万 4,173 円	12 億 3,341 万 1,181 円

A

退会理由は把握できていません。

Q

597人中8人が退会している理由は。

A

このアプリの参加者数は597人で、200ポイントを1口として応募総数が441人ありました。景品は、真空ステンレス炭酸ボトルが110名、折りたたみヨガマットが110名の合計220名の方が当選されています。

Q

アプリの参加状況と景品の内容は。

こんな質問が出ました

市主催の介護予防イベントや各地域で実施している体操教室などに参加したときに、アプリを通じてポイントを付与できるようフレイル予防アプリを導入しました。

◎フレイル予防アプリ事業運営委託料(984万5千円)

Pick up
1

フレイル事業の充実で

高齢者に与えよ元気を



フレイルアプリ画面

Pick up 2

こども医療費の無償化、拡充の年

◎子ども医療費（2億3154万4985円）

これまで15歳まで無料だった子どもの医療費。令和5年8月から18歳までに拡大、加えて24歳までの大学生などの入院も無料にしています。

こんな質問が出ました

Q 拡充分は。

A 8月からの実施で高校生相当の助成額で2362万1959円、大学生などの入院で28万6280円です。

Q 担当課としてどう捉えているか。

A 保護者などの経済的負担を軽減するという目的になった運用ができました。

子		子ども医療費受給者証									
負担者番号	8	1	3	0	0	1	2	1			
受給者番号	0	0	3	7	4	3	2				
子	住	和歌山県紀の川市西大井338番地									
ど	氏	紀の川市役所国保年金課									
も	生年月日										
受給者	住	和歌山県紀の川市西大井338番地									
給者	氏	紀の川市役所国保年金課									
有効期間	令和5年8月1日	から									
	令和8年3月31日	まで									
発行機関名及び印	和歌山県 紀の川市										
交付年月日	令和5年8月1日										

必ず健康保険証を添えて窓口へ

Pick up 3

いのちの大切さを知る

◎いのちを支える自殺対策推進事業

いのちの誕生から始まり、思春期に入る児童がいのちの大切さや尊さを知り、心身の変化を正しく理解して心や体を大切にすることができるとを目的として、「いのちの授業」は希望した市内小学校4年生を対象に、保健師2名が授業形式で行いました。

こんな質問が出ました

Q 10クラスに行ったということは10回行ったということか。

A 学校としては7校ですが、クラスが別々になっているため10回実施しています。

Q 先生や児童の反応は。

A 授業を一緒に聞いていた先生にもすごく良い内容と言ってもらいました。

A 児童の反応が非常に良く、「自分のことを大事に思えるようになった」、「体や心の変化ということがわかった」という報告がありました。



いのちの授業

Pick up 4

市民の健康を守る

◎がん対策事業（1億499万4884円）

がん予防や早期発見につながる取り組みに加え、令和5年度からがん患者への支援となるようアピランスケア、妊孕性温存後生殖補助に取り組み、また受診率向上のための日曜検診にも取り組みました。

こんな質問が出ました

Q 日曜検診や未受診者勧奨の状況は。

A

日曜検診は10月に乳がん検診、子宮頸がん検診を実施しマンモグラフィで114名、エコーで81名、子宮頸がん検診で66名の受診がありました。各種検診のお知らせは年度末2月ごろに、40歳以上の方に通知し、令和5年5月に20歳から39歳の対象者全員2550人に子宮頸がん検診の通知をしました。12月に20歳から69歳の検診未受診者に子宮頸がん検診の案内をして、1284人が受診しました。



Pick up 5

紀の川市に、また来たい！

◎きのかわ春旅キャンペーン事業（委託料・宿泊施設借上げ料144万円）

春から初夏にかけて、桃の行楽シーズンにおける本市への誘客を促進するため、市外在住の方を対象に募集し、市内宿泊施設2施設の無料宿泊券を抽選で80組160名に贈呈しました。

こんな質問が出ました

Q 応募件数と男女比の内訳は。

A

応募件数は2956件で男性が1009件、女性が1947件です。

Q

当選が80組で宿泊が65組となっている。宿泊された方の感想は。

A

アンケートの感想では「粉河寺が期待以上に素晴らしかった」との意見もあり、紀の川市にまた来てみたいですかとの問いに、多くの方が「是非、来てみたい」とのご意見でした。



Pick up
6

1日で305キログラムの残食!?

◎学校給食運営事業（4億8703万6033円）

粉河学校給食センターでは約1200食、河南学校給食センターでは約3400食の給食を毎日提供しています。

こんな質問が出ました

Q 学校給食の残食量は。

A 粉河学校給食センターで、年間9.9トン、1日平均50.5キログラム。河南学校給食センターで年間50.2トン、1日平均25.5キログラムです。

Q 地産地消率は。

A 米とフルーツは100%紀の川市産、野菜などの農産物は粉河学校給食センターで約34%、河南学校給食センターで37.6%使用しています。



中学生考案 荒中バーガーセット

Pick up
7

有料化、必要だったか？

◎保健体育使用料（7600円）

保健体育施設に有料シャワーが設置されているところは、桃源郷運動公園陸上競技場スタンド棟・貴志川スポーツ公園・貴志川トレーニングプラザ・那賀体育館の4施設です。

こんな質問が出ました

Q 利用状況は。

A 貴志川スポーツ公園の6700円と那賀体育館の9000円で、利用料合せて7600円です。

Q 2施設以外のシャワーは使用していませんか？

A 集金確認しましたが、この2施設だけです。



有料シャワー（貴志川トレーニングプラザ）

Pick up
8

ふるさと納税

前年比5億円増の19億円の収入に

◎ふるさとまちづくり寄付金（19億915万9160円）

ふるさとまちづくり寄付金による収入が前年比1.37倍と好調で、過去最高額を更新しました。一方で、返礼品代を含む経費も約3億8千万円増の9億9295万9千円かかっており、こちらも過去最高の支出となりました。

こんな質問が出ました

Q

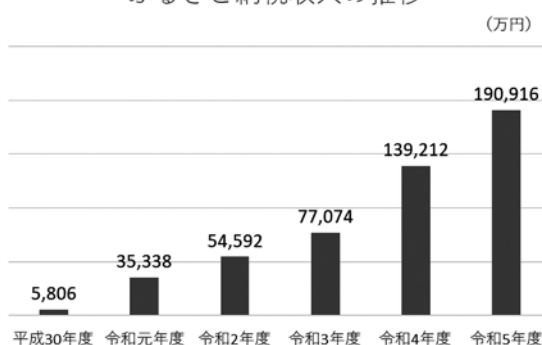
本市に住んでいる方が他の自治体に寄付したことで市民税収入が減収となったのはいくらか。

A

紀の川市民が他市町村に、ふるさと納税したことによる市民税の寄付金税額控除額、減収分は8353万2522円です。

※地方交付税制度では、ふるさと納税で他自治体に流失した市民税額の4分の3（75%）をのちに国が補填してくれる仕組みがあり、本市もその対象となっています。

ふるさと納税収入の推移



Pick up
9

今の職員数で対応できるのか

◎人件費（全会計で52億5430万862円）

合併以降、正規職員を削減し、会計年度任用職員を増やしてきました。

こんな質問が出ました

Q

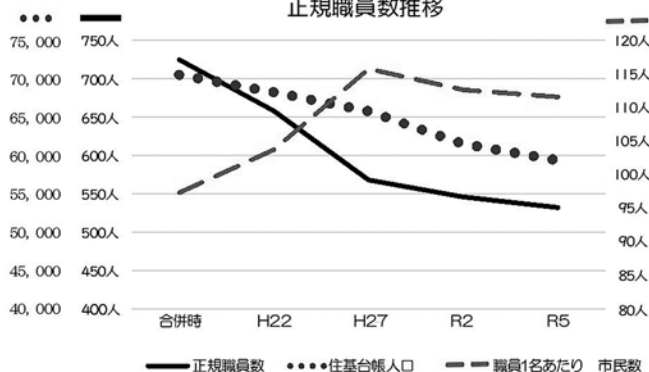
児童虐待の新規受理件数が昨年度と比較して54件増えている（令和5年度222件）。

その他の相談・支援は複雑化・多様化しているなか、人員不足なのは。

A

令和8年度までの職員適正化計画で上限5人の増員を可能とすることで職員数を調整し、弾力的・柔軟に職員配置を行えるようにしています。今後も児童虐待相談件数の増加が想定されるので、適正化計画にもとづいて体制強化に努めていきたいと考えています。

正規職員数推移





賛成の
主な理由

一般会計決算に対する

討 論

反対の
主な理由



市税の総額は増収となり、収納率も年々向上し、令和5年度は97.7%と合併以来過去最高となっている。新たな滞納を増やさず、公平・公正な徴収事務に取り組んだ成果だと考える。

市民生活の安定と向上に必要な事業を着実に実施できたことは十分に評価できる。

正職員の不足や、相談事の複雑化・多様化により正職員の負担増となり、そのことが会計年度任用職員の負担増にもつながっている。職員が疲弊している状態では市民に寄り添い、市民の困りごとを支え、市民の命を守ることは難しいのでは。

基金残高は139億7742万円ある、財源は十分あるのでは。

職員適正化計画自体を大幅に見直し、早急に対応すべきでは。

国民健康保険事業勘定特別会計決算に対する

賛成の主な理由

討 論

反対の主な理由

国民健康保険の被保険者は減少傾向にあるが、医療技術の進歩などから、1人当たりの医療費は上がっている。

令和4年度に比べ保険料率は上がっているが、県が示す額を下回っている。

保健事業で被保険者の健康寿命の延伸や、医療費の適正化にも努めている。

6月豪雨で被災した国保加入の世帯に対し、市独自の保険税の減免を行ったことは評価するが、その財源は市独自に国保会計に繰り入れるべきであった。

過去5年の1人当たりの保険税額は昨年度を除き9万円台と高止まりしている。

保険者として、独自に一般会計からの政策的繰り入れが必要だったのでは。

議案に対する議員の賛否一覧（全37議案中賛否が分かれたものを掲載しています）

案 件 名	結果	木村 芳友 (わ)	大田 裕之 (わ)	上野 宗彦 (清)	門 眞 一郎 (共)	大谷さつき (公)	並松 八重 (公)	石井 仁 (共)	中村 まき (共)	仲谷 妙子 (清)	阪中 晃 (紀)	村垣 正造 (無)	堂脇 光弘 (清)	室谷 伊則 (公)	榎本 喜之 (わ)	杉原 勲 (紀)	竹村 広明 (清)	船木 孝明 (わ)	川原 一泰 (清)
議案第 73 号 令和5年度紀の川市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 75 号 令和5年度紀の川市国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	原案可決	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第 84 号 令和6年度紀の川市一般会計補正予算（第4号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—

【○・・・賛成 ×・・・反対 —・・・議長 欠・・・欠席 退・・・退席】

※議長は採決に加わることはできません。ただし、賛否同数の場合は、議案の可決・否決を決めることができる「裁決権」があります。

※(清)・・・清流会 (わ)・・・わかばクラブ (公)・・・公明党 (共)・・・日本共産党 (紀)・・・紀の川クラブ (無)・・・無所属



いっぱん質問



一般質問とは、議員が市民の代表として、市の行政全般に対し、事業の執行状況や政策方針などについて質問することで、政策の見直しや提言なども行います。

木村 芳友 議員（わかばクラブ）

- ◎子どもから高齢者までイキイキできる地域を求めて

上野 宗彦 議員（清流会）

- ◎人口増加エリアの課題と対策

阪中 晃 議員（紀の川クラブ）

- クレジットやスマホ決済をしては
- ◎110番非常通報装置の設置を

大田 裕之 議員（わかばクラブ）

- ◎更なる関係人口、交流人口増加にむけて
- 体験型ふるさと納税の導入は

中村 まき 議員（日本共産党）

- ◎暑さからいのちを守る取組み
- 楽しい図書館で本に親しむ
- 地方自治体として災害に備える

石井 仁 議員（日本共産党）

- ◎予算の重点分野「市民生活を守る」をさらに進めるために

門 眞一郎 議員（日本共産党）

- 有機フッ素化合物（PFOS、PFOA）汚染に対する取り組みを
- ◎大阪・関西万博への小中学生の参加について

大谷 さつき 議員（公明党）

- ◎子どものSOSがキャッチできる環境づくりを
- 住宅の取得支援制度の更なる活用と周知の充実を

並松 八重 議員（公明党）

- 医療費適正化と糖尿病重症化予防のための受診勧奨を
- ◎災害時の逃げ遅れゼロへ

船木 孝明 議員（わかばクラブ）

- ◎本市の商業と農業の特性を生かした持続可能な町づくりは
- 仮称京奈和関空連絡道路実現に向け、住民意識の盛り上げと今後の取り組みは

※ ◎の質問の概要を掲載しています。

一般質問の内容については、要旨のみ掲載していますが、QRコードから録画配信がご覧いただけます。

なお、原稿については、各質問者が投稿したものであり文責は質問者にあります。

くわしい内容を知りたい方は、会議録の閲覧ができますので議会事務局議事調査課までお問い合わせください。（TEL 0736-77-0860）

介護保険料を下げるために 出来ることは・・・



木村 芳友

Q 本市の介護保険料が橋本市に比べて高い理由をどのように考えているか。

A 要介護認定率を比較したときに、令和6年3月末時点で本市が21.2%、橋本市が18.7%。要介護3以上の人の割合は本市の方が多く、より重度化していることがうかがえる。

本市が橋本市より介護保険料が高額になった要因は介護サービスを利用する人が橋本市より多く、更により重度な人が多くいたことによるものと考ええる。

Q 介護保険料の負担軽減を目指すため、具体的な方法とその実行計画は。

A 介護予防に力を入れている。具体的には、運動器機能向上教室、口腔機能向上教室、低栄養予防教室や各種の介護予防教室、つどい場事業などの介護予防普及啓発事業を始め、公民館単位で活動する自主運動サークルへの支援及び地区集会場単位で活動する「てくてく



体操」へ参加の支援と、フレイルチェック事業などに取り組んでいる。

Q 高齢者の勤労意欲に関する調査をおこなったことはあるか。

A 令和4年度に実施した生活機能チェック調査では「企業や介護事業所などで働くことに興味はありますか」という設問によって勤労意欲に関するニーズを調査している。

子どもが増えている地区 早期に対応が必要では？



上野 宗彦

Q こばと保育所が手狭になっている。移転を考え、J・A・県農と用地交渉をしては。

A こばと保育所は周辺が住宅や道路に囲まれていることから拡張は困難である。田中小学校近くへの移転についてはメリットも大きいので今後も引き続き研究していきたい。

Q 小学校から遠い井阪地区で子どもが増えている。通学における対策を早期にすべきでは。

A 地域巡回バスなどの公共交通は、一般の利用者もいることから乗車人数に限界があり、ピストン運行をするにも限界がある。多くの課題はあるが検討したい。

また、乗降における安全な場所を確保し、保護者の送迎による通学許可書の発行も対策の一つとして検討したい。

Q 「野あそびの丘」を利用者ニーズに合わせ、さらに充実させるべきでは。



A 利用者からは、日陰が少ない、レジャーシートを広げられるスペースが欲しいなどの意見がある。関係団体などと協議を行い、拡張を視野に入れて前向きに進めたい。

Q これらの課題に対し、市長の考えは。

A スピード感を持つて必要な環境の整備、充実をしていくのは重要だと考える。しかし、地域課題はさまざまで、ニーズも多様化するなか、十分な検討が必要な課題は熟慮を重ねて対応したい。

110番非常通報装置の設置を



阪中 晃

Q 不特定多数の人が訪れる施設や、子どもなど弱者が在所する施設での緊急事件の発生時には、被害拡大の防止と犯人の早期検挙が重要で、一刻も早い警察への通報が必要である。保育所や小学校では、不審者対策としてさす股などを設置し、先生方が不審者対策の訓練をしているようですが、いっ

たとき不審者が来るかわらない。子どもたちの命が一番である。早々に保育所や小学校から110番非常通報装置の設置を推し進めていくべきでは。

A 保育施設においては、不審者対策に係る対応マニュアルを作成し、不審者の侵入を想定した避難訓練や、さす股を使用した防犯訓練を定期的に実施している。侵入など不測の事態が発生した場合は、児童の安全を最優先に確保するとともに、迅速に警察へ通報するためには電話もさることながら、ボタン一つで警察に通報できることは有効な手段と考える。職員も含め安全性の向上がはかれることから



導入に向け検討していく。

小学校においては、不審者の侵入を想定した訓練を毎年実施しているが、教職員の人数が少ない小規模校については、警察への通報には時間を要してしまうことも考えられるため、警察に直接通報できる110番非常通報装置の設置については有効であることから検討していく。

更なる関係人口・交流人口増加にむけて探る



大田 裕之

Q 「フルーツ王国」としてアピールしているが、桃以外の果樹に関する認知度は低く、これを高める必要があると考える。市内全体でフルーツを盛り上げるような計画は。

A 紀の川市観光振興基本戦略及び紀の川市観光アクションプランを策定している。地域の観光資源を有効活用し、誰もが訪れたいと思えるまちを目指して、観光振興事業などを推進している。多様なフルーツを観光資源として位置付けた、「フルーツ王国紀の川市」の更なる認知度向上に努める。

Q 「また紀の川市へ行きたい!」と思ってもらえることが重要。再訪を促す施策は。

A 豊富なフルーツや、名所、旧跡、スカイスポーツや各種イベントを通じて、多くの方が本市に何度も訪れていただけるよう、さまざまな観光施策を実施していく。

Q 「きのかわまるごと桃のスタン

プラリー」が実施され好評を得た。全市を巻き込んだ「きのかわまるごとスタンプラリー」のような企画を検討しては。

A LINEの機能を活用し実施した結果、市公式LINEともだち登録者数が1081人増加し、事業実施のひとつの成果と考えている。

まず、「きのかわまるごと桃のスタンプラリー」を継続・拡充をして実施し、次のステップとして前向きに検討を進めていきたい。



急いで！ 暑さ対策



中村 まき

Q 酷暑と言われるなか、熱中症での救急搬送も年々増えている。市民の命を守る責任のある自治体として何ができるのか。

学校における暑さへの対応は、熱中症計で、「暑さ指数」をチ

A エックし、屋外での体育の授業や休憩時間の外遊び、部活動を中止するなどの対応を行っている。教室での授業では、空調設備を使用するとともに水分補給にも十分留意している。

文科省は学校の空調を整備するときには断熱改修も行うことを勧めている。学校施設への断熱改修の必要性をどう考えるか。

A 暑さ対策や効率的なエアコンの運用などを考慮すると断熱性の確保は重要であるが、高額になるため断熱性能を高めるためだけの改修は難しい。

Q 電気代も上がっているため、エアコンを使わない生活保護世帯の方もある。最低限度の生活を守る

ために、市独自の夏季加算をしては。

A 国で検討されるべきものなので、独自支援の実施予定はない。

Q 市民の命を守るために対策を取らなければならない責任について、市長の考えは。

A 何をするとは答えられないが、空調は子どもの命に関わることで、早急に協議し、前向きに検討していく。

全国市長会から夏季加算の創設を国へ要望している。

熱中症による救急搬送人員数等の調査

	搬送人員数			年齢区分							
	総数	男	女	~7	~13	~18	~40	~65	~75	75~	
5月	4	3	1	0	0	2	1	0	0	1	
6月	14	11	3	0	2	0	2	4	1	5	
7月	58	34	24	0	2	2	4	10	16	24	
8月	50	30	20	0	1	9	1	11	12	16	
計	126	78	48	0	5	13	8	25	29	46	

岩出・紀の川両市

給食費無償化の「期間限定」解除を



石井 仁

Q 本市は、今年度当初予算の重点分野に「市民生活を守る」を掲げた。「市民生活を守る」ことを予算の正面に据えた意義は大きい。

市民生活の現状をどう見ているか。

A 全国の消費者物価指数は上昇傾向で、実質賃金指数は全国・和歌山県ともに減少傾向となっていることから、市民生活が厳しい状況から完全に抜け出せたとはいえないかもしれない。

Q 本市が市民に課している負担の軽減と支援策の拡充が必要だ。指定ごみ袋代の引き下げと各世帯への無償配布を。

A 近年の物価高騰により、ごみ処理経費やごみ袋の作成費も高騰している。本来であれば、指定ごみ袋の値上げ（ごみ処理手数料）も検討しなければならぬが、「市民生活を守る」ことから、指定ごみ袋の値上げをせず、現状維持とすることも生活支援の一つと考える。ごみ袋金額の引き下げ、無償配布

は考えていない。

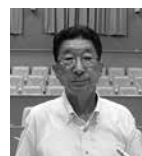
Q 県は今年10月から来年3月まで、学校給食を無償化している市町村を対象に、その費用の半分を補助する。

この際、学校給食無償化の期限をなくしては。

A 令和4年度から5年間の期限を設け、本年度で3年目となる。財政状況などにもよるが、令和9年度以降も継続できればと考えている。



小中学生の万博参加、各校で慎重に検討を



門 眞一郎

Q 県は、万博入場チケットとバス費用の一部を負担するとし、小中学生の参加を促しているが、会場の夢洲はメタンガスが発生し、3月には爆発事故もあり、安全性に疑問がある。会場への経路が橋と海底トンネルの2ルートで、混雑が予想される。下車後のバスは隣の舞洲で待機のため、災害・緊急時にバスで避難待機ができない。安全確保、水分補給、熱中症の心配などもある。

A 下見については、県で検討していると聞いている。

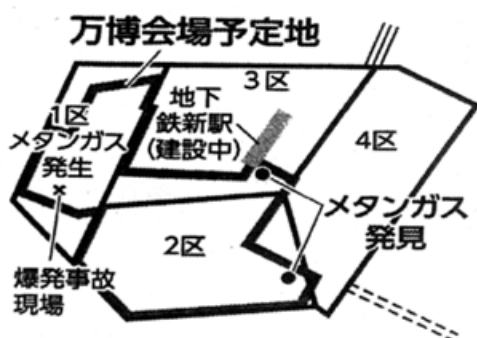
Q 児童・生徒の安全が確保できないと判断した場合は、参加希望校と十分な協議を行うべきでは。

A 安全が確保できない場合は、参加しないように学校と協議をする。その場合、キャンセルできるよつ県に働きかける。

A そもそも、教育課程の編成権は各学校にある。各校に対して、大阪・関西万博への参加を強制しないようにと考えるが。

A 基本的には、学校行事などは各学校で決定し、行うことになっている。大阪・関西万博については慎重に検討し、決定するよう各学校に指導したい。

Q 参加希望校が会場下見をできるよつ、予算措置をしては。



SOSのサインを見逃さないために



大谷 さつき

Q 新学期が始まる前後は子どもたち心の体調が表れやすい時期である。自殺という悲しい選択をする事態は断じて防がねばならない。こども家庭庁の周囲の気付き調査では、自殺の危機も変化も気付いていなかったが21%もあった。児童生徒が安心してSOSを出せる環境の整備が重要である。相談窓口の体制は。

A 教育相談や不登校児童生徒への対応は、教育相談員5名、スクールカウンセラー11名、不登校支援員3名、訪問支援員2名と、県からのスクールソーシャルワーカー3名の体制である。電話相談窓口は県教育委員会が実施している。

A ネット上でのいじめ対応は、情報モラル教育を実施し、青少年センターや民間の通信事業者による出前授業も行っている。

Q 児童生徒の心や体調の変化に早期に気付けるよつ、1人1台配布のタブレットを活用した、いじめ

・自殺対策などのツールがある。本市のタブレット端末に導入の「まなびポケット」のアプリを活用しては。

A このアプリは心の健康観察として、はれ・くもり・あめ・かみなの4つの天気マークを使い担任教諭に伝える機能がある。低学年から活用でき、アプリ内のコミュニケーション機能でメッセージのやり取りができるため、有効な活用方法など早急に研究していく。



災害時、市民への情報伝達を

確実に



並松 八重

Q

災害時の逃げ遅れゼロを目指すには、何より、市民に災害情報と避難を促すための情報伝達を正確かつ、確実に伝えることが重要である。気象情報はSNSやテレビなどで発信されているが、避難情報を確実に伝達するには戸別受信機が最も有効であり、速やかな避難行動につながると思う。戸別受信機の利用状況と今後の活用として、希望される方への貸し出しはできないのか。

A

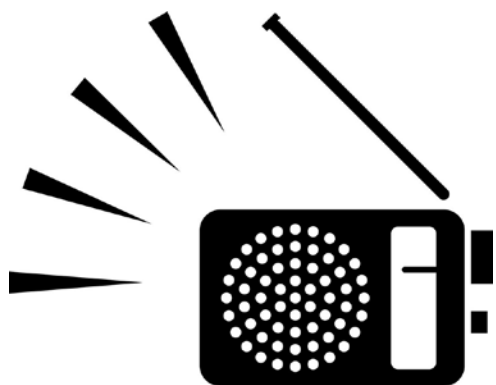
戸別受信機は1300台保有しており自治区長、民生委員・児童委員、山間部の難聴地区、障害のある方、避難所などの公共施設などに1100台貸し出し、災害情報の入手に活用されている。今後も引き続き防災情報の入手困難な方に貸し出しを行いたい。

Q

戸別受信機の在庫は200台だが在庫が足りなくなった場合の対応は。

A

追加補充を含め柔軟に対応する。



Q

避難情報を伝達し安否確認するため支援者へ電話などで情報発信しているが、電話での呼びかけには時間と労力が必要である。電話番号を登録するだけで一斉に情報発信される「双方向情報伝達システム」が他の自治体で運用されている。導入を検討しては。

A

このシステムは、確実な情報の伝達と職員の負担軽減につながる可能性があると認識しているが、課題もあり運用方法や有効性などを研究、検討していく。

農業の特性を生かし

持続可能なまちづくりを



船木 孝明

Q

第一種農地は転用許可が原則できないが許可ができる場合はあるのか。

A

第一種農地でも例外的に許可できる場合はあり、農業用施設、農畜産物処理加工施設、農畜産物販売施設、集落に接続して設置される個人住宅などが転用許可できる。

Q

今後10年、20年後農家人口は3分の1に減少するが、本市の持続可能な農業の取り組みは。

A

親の農業を継ぐ50歳未満の者に最大2年間で120万円の親元就農助成金制度を設けており、5年間で26名の利用実績がある。また9月議会において経営継承応援資金として1人当たり50万円の交付金を補正予算に計上している。

Q

近年耕作放棄地が増加傾向となつているが国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を参考に組み組んで耕作放棄地を再生しては。

A

国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金は、耕作放棄地の再生



利用の支援を目的とし、現在は遊休農地解消緊急対策事業に名称変更している。

県においても、和歌山版遊休農地リフォーム加速化事業として遊休農地の解消に関する経費などが支援されている。耕作放棄地対策は、和歌山県農業公社（農地中間管理機構）と連携し、持続可能な農業がはかれるよう努める。



全議員研修会を開催しました



●7月5日 地方議会制度について

自治体議会研究所 代表 高沖秀宣氏を講師に招き、「地方議会制度」について、研修会を開催しました。

二元代表制や議会の予算決定権、議会の災害対策、通年議会などを学びました。さらなる議員力の向上と議会力の発揮に、役立てたいと思います。



次回12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
					本会議 (開会)	
12/1	2	3	4	5	6	7
		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問・ 質疑・付託)		
8	9	10	11	12	13	14
		総務文教 分科会 総務文教 常任委員会	厚生分科会 厚生常任委員会	産業建設分科会 産業建設 常任委員会		
15	16	17	18	19	20	21
			予算決算 常任委員会		本会議 (閉会)	

※午前9時30分開会予定です。なお、日程は変更することがあります。

ご意見・ご感想を お聞かせください



紀の川市議会では、議会広報紙「未来へ」を年4回発行しています。議会を身近に感じられる広報紙となるよう、皆様の声をお聞かせください。今後の編集に活かしていきます。

回答方法

専用フォーム(右記 QR コード、または下記 URL)から回答するか、感想などを記入し郵送、メールでご提出ください。



URL : <https://logoform.jp/f/XMJ9t>

専用フォーム

〒649-6492 紀の川市西大井 338 番地

紀の川市議会広報特別委員会あて

e-mail : k010200-001@city.kinokawa.lg.jp

【お詫びと訂正】

令和6年8月1日発行の議会だより第70号の記事に下記のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

(正)

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
					本会議 (開会)	

(誤)

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
					本会議 (開会)	

議会のインターネット配信

本会議の録画映像をインターネットで配信しています。議会ホームページや、下の QR コードからぜひご覧ください。

本会議の録画映像はこちらから





ちょっとおしえて!

あの質問、どうなったの?

市公式LINEの 情報発信強化を!

子育てをしやすい本市だが、6つのカテゴリ（リニューアル前）では子育てに関する情報を得ることができない。子育てに関する市公式LINEでの情報発信のあり方や運用方法について、どのように考えるか。

答 弁

観光プロモーションの実施に伴い、市公式LINEを利用したカテゴリを増やしていくことを予定している。他の市町村に負けない数多くの子育て施策を行っているなかで、情報発信ツールのひとつであるLINEの特性を活かした効果的な活用を検討していきたい。

その後

リニューアル!

令和6年4月1日、より分かりやすく、さらに便利に利用してもらうために、市公式LINEをリニューアルしました。メニューが3つに分かれ、欲しい情報にたどり着きやすくなりました。



たいじょうほうしん 带状疱疹の発症と 重症化を防ぐために!

任意接種のため接種費用が高額になり接種をためらう人が多い。带状疱疹発症を予防し、健康寿命延伸につながる事業としてワクチン接種費用の助成をしては。

答 弁

小児の水痘ワクチンが定期接種化されたことで罹患者が減り、高齢者が带状疱疹を発症しやすくなっていると考えられる。市長会を通じ国に定期接種化を要望している。

その後

予算化されました!

任意予防接種である带状疱疹の予防接種について、経済的負担の軽減並びに健康の保持及び増進をはかるため、希望する65歳、70歳及び令和6年度に限り71歳以上の高齢者に対し、予防接種費用の一部助成をします。





ハンドボール日本代表 吉田守一選手と

編集後記

9月議会では、例年と同様に決算審議が主要な議題でしたが、今年は初めての試みとして各会派から同数の委員を選出し、公平で充実した審議が行われました。特定の会派の意見に偏らず、全員で議論を深め、納得のいく結果を得られたことは大きな成果です。これから編成される令和7年度予算に生かされることを大いに期待しています。

また面白い話題として、大リーグ野球において大谷翔平選手が、前人未踏の50本塁打、50盗塁超えを達成するという偉業を成し遂げ、国内外で大きな話題となっています。今後の活躍も期待されるところです。私たちも個々の議員力を高め、議会力の向上を目指して頑張りたいと思います。

暑さが厳しかった季節から山々の木々も色を変えはじめ、冬支度を始める頃になりました。これからは、乾燥や寒さ対策をして、みなさまも健康には十分にご留意ください。引き続き、みなさまに読んでいただけるような紙面づくりに邁進しますのでよろしくお願いたします。

(木村芳友)

